

製品・技術 PR レポート

1. 企業概要

会社名	株式会社 コンティグ・アイ		代表者名	鈴木 繁三			
			窓口担当	山田 博子			
事業内容	微生物を活用した製品・サービスの開発		URL	http://www.contig-i.co.jp/index.html			
主要製品	バイオエタノール生産設備、土壌汚染修復事業、超音波殺菌装置						
住所	岐阜県岐阜市正木 631 番地 7						
電話/FAX 番号	058-294-8091 / 058-294-8106		E-mail	info@contig-i.co.jp			
資本金(百万円)	28	設立年月日	平成 15 年 11 月	売上(百万円)	72	従業員数	11

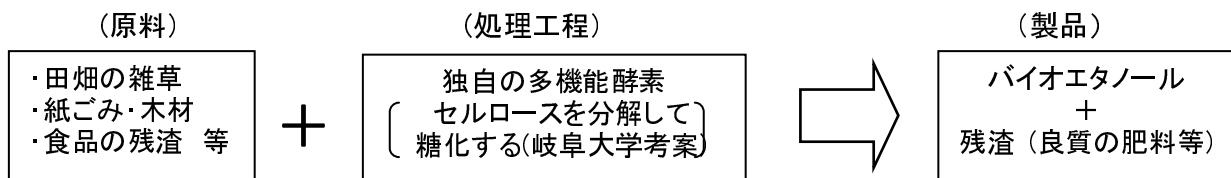
2. PR事項

『バイオエタノール生産に参入できる、画期的な小規模分散システム』

●当社バイオエタノール生産システムの特徴

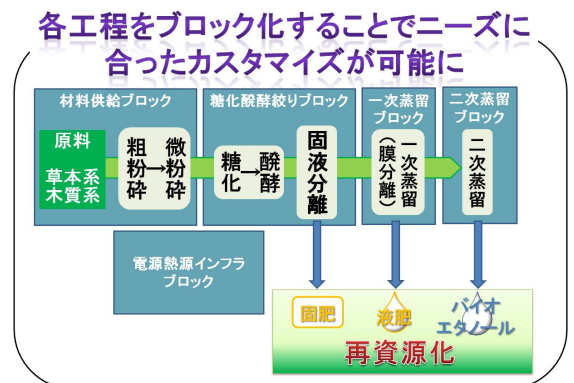
➤ 生産工程の特徴

工程には硫酸などを使わない生物学的処理により、環境負荷と設備に対する負荷が極めて低く、設備の維持費を極めて小さくすることが可能です。



➤ 生産システム特徴

- ①製造能力: 紙ごみ 1t から約 500ℓ、草・木から約 250ℓ
- ②製造コスト: 約 60 円以下/エタノール 1ℓ
(一般的には、従来約 100 円/ℓと言われていた)
- ③製造設備コスト: 約1億円以下
(草木原料時の月産能力約 1000ℓ)



●小規模・持続可能なバイオエタノール生産事業を可能とする小規模分散型事業システムを提供

生産システムの概略寸法は、「縦 2.5x 横 3.7mx 高さ 2.5m のコンテナ」を 1 ブロックとし需要に合わせたカスタマイズができ、移動可能な小規模設備です。

当社では、最小限のバッチサイズでシステム設計します。移動可能なバッチ式とすることで材料と量の変動に柔軟な対応が可能となり、「無理をしない、無駄にしない」仕組みが小規模ながら持続的な事業を可能とします。

3. 特記事項（期待される応用分野等）

●バイオ・エタノール生産事業の応用分野例

- ①自動車用燃料 ②ボイラ用燃料 ③小型燃料電池 ④バイオエタノール残渣の肥料化 等

●新たな事業展開の見通し

材料が薄く広く発生する農地や林地への、経営のリスクを分散化したフランチャイズ制度の導入やリース事業も検討模索します。また、大規模需要に対応するため、バイオエタノール買取制度もあわせて検討していきます。

●当社エタノール生産システムは、NHK ニュース・日経産業新聞等で報道されました。